

余剰汚泥が発生しない BCS処理方式による除害施設

除害施設とは

特定事業場から出る排水を下水道に放流する場合、下水道施設の維持管理面から排水の水質規制が設定されています。
特に食品加工施設排水、厨房施設排水では、ノルマルヘキサン抽出物質が水質規制値を超過するため、この除去が必要です。

BCS処理方式について

BCS(Bio Contact System)処理方式とは、油脂分解菌(バイオ製剤)により排水中の油脂を分解処理することにより汚泥処理を不要とし、排水を水質規制値以下まで下げることができる処理方式です。

従来型油脂分解方式

1. 加圧浮上装置
設置スペース、加圧水用動力、凝集剤が必要。
また収集したフロスは悪臭対策及び汚泥処分が必要。
2. 担体流動床式
定期的な担体補充が必要



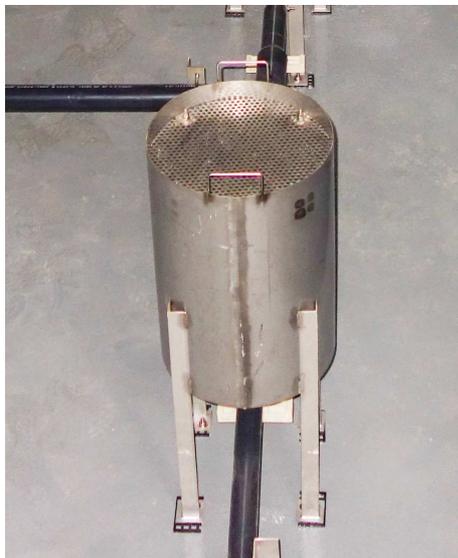
BCS処理方式

1. BCS処理
フロスが発生しないためその臭気対策・汚泥処理が不要となる。
2. BCリアクターは施工時に設置した後はメンテナンスフリーで補充不要

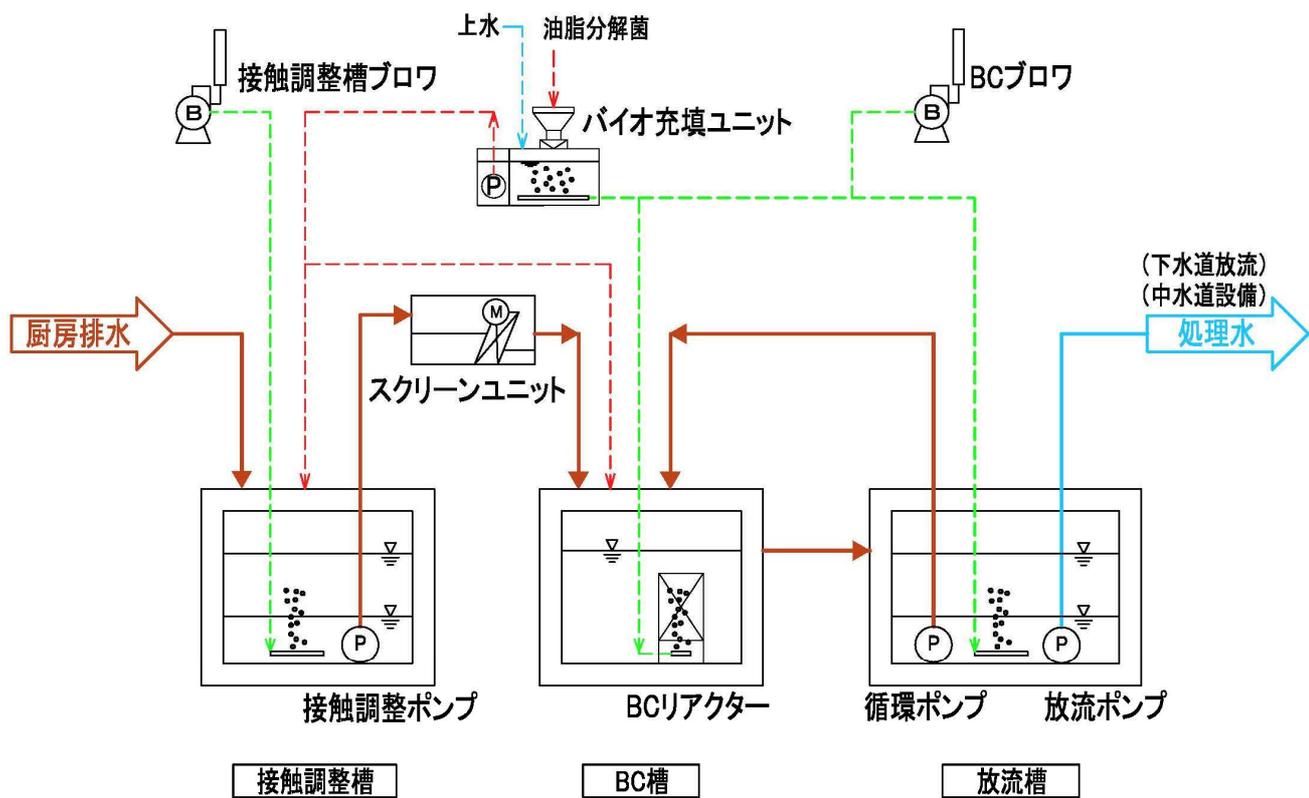
バイオ充填ユニット



BCリアクター



基本処理フロー



納入実績

納入先	工事名称	処理量 (m ³ /日)	所在地
斎久工業 (株)	東京會館本館 厨房除害施設工事	270	東京都
斎久工業 (株)	大手町パークビルディング	330	東京都
ユアテック (株)	ららぽーと湘南平塚 除害施設工事	450	神奈川県
(株) 大気社	法政大学 (市ヶ谷) 建替工事	70	東京都
(株) 西原衛生工業所	JR新宿ミライナタワー新築設備工事	350	東京都
斎久工業 (株)	大崎ブライトタワー除害施設工事	70	東京都

販売元

 第一環境アクア株式会社

〒107-0052
東京都港区赤坂2-2-12 NBF赤坂山王スクエア
TEL 03-6277-7620
URL <http://www.daiichikankyo-aqua.com>